

頻発する事案に他人事ではられない

# 敵対的買収の法的留意点

一般的な手法や対応策を整理  
第1章 敵対的買収をめぐる動向と実務の概要

企業価値・株主共同利益を守ることの説明を  
第2章 買収防衛策の導入・更新時の実務ポイント

成功の確度を上げる方策とは  
第3章 敵対的買収を行う場合の実務上の留意点

公表後の対応と有事導入型防衛策の導入  
第4章 敵対的買収を仕掛けられた場合の  
実務上の留意点

森本 大介(西村あさひ法律事務所 弁護士・ニューヨーク州弁護士)

小林 咲花(西村あさひ法律事務所 弁護士・ニューヨーク州弁護士・テキサス州弁護士)

昨今、伊藤忠商事によるデサント、コクヨによるぺんてる、前田建設工業による前田道路などの敵対的買収をめぐる案件が散見されるようになっている。このようななか、自社が第三者から非友好的買収提案を受けることも考えられ、平時から理解と備えを行う必要がある。

そこで、本特集では、敵対的買収および買収防衛策の実務ポイントを整理し、敵対的買収を行う側・仕掛けられた側の実務上の留意点を解説していただいた。